

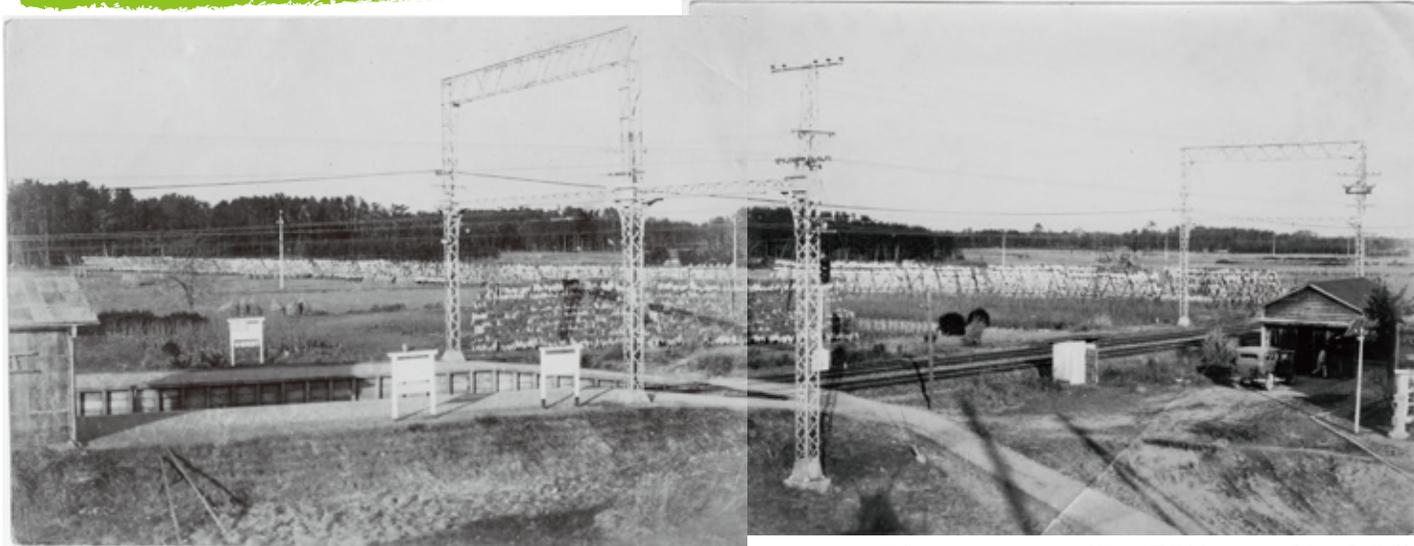
さいくうあと通信

発行 明和町 齋宮跡・文化観光課
 (三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地)
 電話 : 0596-52-7126 FAX : 0596-52-7133
 E-mail : saikuuato@town.mie-meewa.lg.jp

齋宮跡のいま・むかし

齋宮跡では、近鉄齋宮駅北側に休憩所が完成し、平安時代の齋宮寮庁を復元したさいくう平安の杜が完成するなど整備が進んでいます。現在の風景と、かつての齋宮の風景を比べてみましょう。

<近鉄齋宮駅>



昭和 23 年～ 26 年頃の撮影か (乾 秀治氏提供)

近鉄齋宮駅から北方面を撮影した写真です。左手に駅のホームが確認できます。駅舎の屋根から撮影したものでしょうか。齋宮駅は近畿日本鉄道株式会社の前身である参宮急行電鉄株式会社によって、昭和 5 年 3 月の開通当初に建設されました。駅には本線と別に引込み線が設けられ、北東 1km の北野に所在した陸軍通信連隊基地への物資運搬に使われていました。戦後は特産の大根漬を大阪方面へ出荷するために使われたそうです。写真からも線路の北側一面に大根が干されている風景が確認できます。



昭和 6 年～ 8 年頃の撮影か
 (中川隆雄氏提供)



伊勢街道から近鉄齋宮駅へ向う道を南から撮影した写真です。古写真は昭和 6 年～ 8 年頃に撮影されたもので、車両や架線が確認できますが、開業当初のためか駅舎はありません。

古写真の中の一番左側でスーツを着た人は乾覚郎氏で、齋宮跡の顕彰運動や、私財を提供して参急電鉄が齋宮を通るように尽力されました。

※注釈のない写真は、平成 28 年 9 月～ 11 月に撮影したものです。

昔の齋宮の様子が見える写真をご提供ください!!

齋宮跡のかつての様子がどのようなものであったか後世に伝えるため、齋宮の古い写真をお持ちの方は齋宮跡・文化観光課へご提供ください。



< 御館の碑 >



昭和 4 年～ 5 年頃撮影か (大西源一氏撮影、大西健氏提供)

御館の碑付近から北方面を撮影した写真です。道幅はずいぶん変わっていますが、齋王の森に向けて道がつづいています。石碑の周辺には一面田んぼが広がっていました。

< 齋王の森 >



昭和 4 年～ 5 年頃撮影か (大西源一氏撮影、大西健氏提供)

昭和 62 年 6 月撮影

齋王の森に「史蹟齋王旧址」の石碑が建てられたのは昭和 4 年 3 月で、発掘調査がされていなかった当時は齋宮の中心地と考えられていました。古写真では齋王の森を避けるように道が左手に曲がっています。齋王の森は発掘によって方格地割の外側であることが分かってきています。しかし、齋王の森は方格地割の北西の隅に位置し、齋宮を守る重要な場所として今日まで守られています。



昭和 4 年～ 5 年頃撮影か (大西源一氏撮影、大西健氏提供)



竹神社方面



齋王の森から南方面を撮影した写真で、左手奥にうっすらと映る森の方向が、現在の竹神社方面と思われます。齋王の森から齋宮駅方面に通じる道路が確認できます。現在の道路は、齋宮を区画した方格地割と重なります。発掘から道路幅はおおよそ 9m あったとされ、現在の道路はその名残で、齋宮の壮大さがしのべられます。写真では鉄道の架線が確認できず、前掲の白黒写真と共に、石碑を設置した昭和 4 年 3 月から昭和 5 年 3 月の鉄道開通までに撮影された可能性があります。